

よりよく生きる生徒を育むための特別活動・学級経営の役割
一個を生かし、集団を育てる特別活動・学級活動を求めて—

1. 設定理由

OECDの国際比較によると、児童生徒の自己肯定感が低いことは、日本の学校教育が抱える大きな問題である。そこで、生徒に自己有用感を実感させ、自尊感情を高めていくことは急務である。自尊感情を自覚できる経験を何度も積ませることにより、生徒個々の心は耕されていく。多くの人々と交流することや多彩な経験を積ませることによって耕された心は豊かになり、生徒を取り巻く環境を好転させると考える。また、自分に自信が無い、良いところがない、と自覚する生徒が多く、友人関係の希薄さを感じている生徒も多い。お互いの体温を感じることのできないコミュニケーションによって、つながりの強弱を錯覚する場合もあるだろう。

そこで、学級において自他を認め合う活動を通して、他者からの評価や言葉掛けにより自己有用感を高めたいと考えた。個性や長所を、互いに認め合うことで得た自信は、生徒の心を耕し成長させていく。進路指導の視点も交え、個性や興味、適性を考え伸張していけば、自分らしく自信を持って、より良く生きるための道筋が見えてくるであろう。個の良さを生かし、集団の土壌を耕して質を高めていくことをめざし、本主題を設定した。

2. 研究仮説

自他の個性に気づかせ、学級内での相互理解を深めさせる活動を行えば、お互いを尊重し合う態度を育てることができるであろう。

3. 研究内容

- ・自分や友だちの長所を知り、個性を伸ばしていく。
- ・自分の良さを見つめ、今後の進路学習に生かしていく。

4. 結論

- 活動を行うことによって、「自分から見た自分」と、「他者から見た自分」の共通点や相違点を認識することができた。
- 「他者から見た自分」において、良いところや、改善すべきところをそのままにせず、今後の生活に生かそうとする意識が高まった。

1 研究主題

よりよく生きる生徒を育むための特別活動・学級経営の役割
—個を生かし、集団を育てる特別活動・学級経営を求めて—

2 主題設定の理由

情報化社会の発達に伴い、コミュニケーション手段は大きく変化し、ますます多様化している。そこで情報過多の中において正しく有用な情報をどう取捨選択していくかが大切である。情報が多すぎて、子どもだけではなく、大人でさえ情報の真価を見失っているとも言える現代社会で、生徒は評価ばかりに目がいってしまい、自分に自信をもてないのは当然であると考えられる。OECDの国際比較によると、児童生徒の自己肯定感が低いことは、日本全体としての問題であり、自己有用感を実感させ、自尊感情を高めていくことは大きな課題である。

生徒の学校生活の拠点である学級における活動に対して保護者はもちろん、社会の期待も大きい。そこで、これらの課題を解決するためにも一人一人の生徒がよりよく生きようと自主的に行動し、集団の中で役割や立場を理解して、自己が所属する環境や集団を改善しようとする姿勢を育てることが必要となる。その最たる場が特別活動であり、学級活動であると考えられる。

この学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画させる。そのような中で起こる諸問題に対して自主的・実践的な態度や健全な生活態度を育てていきたい。さらに、その態度を育むための実践を通して、学級会活動の充実をはかり、集団活動の中で自らの存在価値を見つけて学習に意欲的に取り組む姿勢を育むことが必要である。そこで、本主題を設定し、個を生かし、集団を育てる特別活動や学級活動のあり方に重点を置くこととした。

3 研究のねらい

お互いの良さや個性を認め合い、尊重しあう学級づくりはどうしたらよいか、生徒が取り組む活動内容を工夫することにより、明らかにしていく。

4 研究仮説

自他の個性に気づかせ、相互理解や尊重しあう雰囲気高める手立てを工夫していけば、よりよい学級づくりをしていく一員として、自信を持って行動していくことができるであろう。

5 研究内容

- (1) 自他の個性や長所を認め合い、共に成長していくための手立て
- (2) 個性や長所の伸張と相互理解を進め、よりよい学級をめざすための実践活動
- (3) 肯定的な自己理解や興味関心を、進路学習に生かしていくための取り組み

6 研究の実際

「自分を見つめなおそう」

相互理解を深めるためにお互いの個性を認め合う活動を実践した。

(1) 生徒の実態 (男子17名、女子16名、計33名)

全体の雰囲気としては、まだ幼さはあるが素直で明るい1年生らしい面が見られる。学習に対して前向きで、男子は積極的に発言できる生徒が多く、女子は物事をじっくりと考えまとめることのできる生徒が多い。

夏休みの間に行われた三者面談では、中学校卒業後は高校進学を希望している生徒がほとんどだったが、志望校を決めている生徒は少数だった。

本授業を実施するに当たって、以下のような事前アンケートを行った。

- (1) あなたの得意教科または好きな教科等は何ですか。(複数回答可)
- ・保健体育 (15) ・英語 (12) ・理科 (10) ・社会 (10)
 - ・数学 (9) ・音楽 (5) ・美術 (4) ・技術・家庭 (4)
 - ・国語 (3) ・学活 (1)
- (2) あなたの長所はどんなところですか。また、どんなところを褒められますか。
- ・スポーツが得意 (6) ・人に優しい (5) ・明るい (4)
 - ・手伝いが好き (3) ・いつも笑顔 (2) ・誰とでも仲良くなれる (2)
 - ・積極的 (2) ・ポジティブ (2) ・リーダーシップがある (2)
 - ・ない、わからない (7)
- (3) あなたの短所はどんなところですか。また、どんなところを注意されますか。
- ・すぐふざける (9) ・短気 (8) ・口が悪い (5)
 - ・マイペース (4) ・熱中しすぎる (3) ・うるさい (2)
 - ・勉強しない (2) ・思ったことを言えない (2) ・ない、わからない (1)
- (4) あなたの趣味・特技は何ですか。
- ・バスケットボール (5) ・絵 (3) ・読書 (3) ・ピアノ (3)
 - ・アニメ・マンガ (3) ・動画 (3) ・サッカー (2) ・寝る (2)
 - ・バドミントン (2) ・水泳 (2) ・ゲーム (2) ・音楽鑑賞 (2)
 - ・お菓子作り (2) ・手芸 (2) ・動物と遊ぶ (2) ・走る (2)
- (5) 将来なりたい職業や、関心のあることは何ですか。
- ・バスケットボール選手 (3) ・ゲームクリエイター (3) ・先生 (2)
 - ・ディズニーのキャスト (2) ・パティシエ (2) ・看護師 (2)
 - ・理系の仕事 (2) ・サッカー選手 ・水泳選手
 - ・保育士 ・医者 ・アルバイト
- (6) 夢を叶えるために、現在頑張っていることは何ですか。
- ・勉強 (8) ・部活 (7) ・お菓子作り (2) ・読書 (2)
 - ・体を動かす ・絵を毎日描く ・ピアノの練習 ・プログラミングの練習
 - ・ダンスの練習 ・画像加工 ・家族の手伝い ・キーボード早打ちの練習
 - ・料理 ・ケガの手当

アンケートの結果や普段の生徒の様子から、将来は自分の趣味や特技を生かした職業を希望している生徒が多いことが分かった。夢を叶えるために、中学校1年生のこの時期から努力をしている生徒もいたので、他の生徒への良い刺激としたい。

また、自分の長所を「ない」または「わからない」と答えた生徒が7名に対して、短所では「ない」または「わからない」と答えた生徒が1名だった。したがって自分の良いところよりも悪いところに目がいきがちであることが分かる。加えて、長所よりも短所の方がたくさん挙げられていることから、やはり自分のことを否定的に見ている生徒が多いと考える。

(2) 題材設定の理由

本題材は、学習指導要領 学級活動(2)「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の「自他の個性の理解と尊重、より良い人間関係の形成」に属するものである。

自己の個性を見つめ、それを大切にしていくことは、自尊感情を高め、自己確立や自己実現を図るための基盤となる。また他者の個性を理解し、互いに尊重し合うことは、自己理解を一層深めるとともに、豊かな人間関係を育んでいくことにつながる。さらに、自己理解を深めることは、進路決定に向けた大事な要素の一つである。自分のことを明確に理解することで、進学先や就職先を考え選択する際の手立てにもなると考える。しかし、生徒の実態から、自分自身のことをあまり理解できずに、否定的に判断してしまう生徒も少なくないように感じる。1年生のこの時期は、中学校生活にも慣れ、精神的にも肉体的にも大きく成長していく時期である。こうした時期に自分の長所を発見・伸ばし、生徒自らに自信をもたせることが大切であると考え。そこで、自分だけではなく、友人など他者からの意見を踏まえながら自分自身を振り返り、よりよく成長していこうとする態度を育てたいと考え、本題材を設定した。

(3) 事前の活動

日時	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
9月30日 帰りの会	・自己に関する事前アンケート	・自分の現状をしっかりと見つめ、真剣にアンケートに答えさせる。	【関心・意欲・態度】 ・自己に対しての関心を高めようとしている。 [アンケート]

(4) 展開

時配	活動の内容	指導上の留意点	資料	目指す生徒の姿と評価方法
活動の展開	1 事前アンケートの結果を聞く。	・集計結果を提示し、本時の学習につなげ、関心をもたせる。 自分や友達の個性を見出そう。	テレビ	

<p>始 10 分</p>	<p>2 本時の学習課題を知り、活動の流れについて説明を聞く。</p>	<p>〈本時の活動の流れ〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自分の個性を見出す。 2 友達の個性を見出す。 3 自分から見た自分と友達から見た自分を振り返る。 4 学習のまとめをする。 	<p>掲示資料</p>	
<p>活 動 の 展 開 25 分</p>	<p>3 自分の個性を見出す。 ・ワークシートを参考に自分に当てはまる特徴に○をする。</p> <p>4 友達の個性を見出す。 ・班で時計回りにワークシートを回し、友達に当てはまる特徴を考え、○をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・○は5つ程度とする。 ・わからない言葉の確認をする。 ・○は特に当てはまるもの5つに限定する。 ・○をつけた理由をできるだけ書くように伝える。 ・相手の長所を見つけ、自分の気づかない長所に気づく活動であることを伝える。 	<p>ワークシート</p>	<p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の長所や個性について真剣に考えている。〔観察〕 【関心・意欲・態度】 ・自分の長所や友達の長所に気づき、理解しようとしている。〔観察〕
<p>活 動 の ま と め 15 分</p>	<p>5 授業をとおして気がついたこと、自分の長所を今後の生活にどう生かしていきたいか考え、発表する。</p> <p>6 ペン図を用いて授業を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えた長所や個性、友達の意見などをもとに、自分の個性を再度見直すように伝える。 ・まずは班で発表し合い、班で出た意見を代表者が全体で発表して共有する。 ・自分から見た自分と、友達から見た自分とで重なる部分が個性や長所につながることを伝え、自信や自己肯定感を与える。 		

(5) 授業を終えて

今回の活動で大切なことは、生徒が自分の「個性」に気づくことではなく、その「個性」を今後はどう生かしていくかで大切であると考えている。授業後の様子を観察すると、友人から受けたアドバイスを今後の生活に生かそうと前向きな姿勢で望む生徒が多くなった。また、相手の話を聞こうとする態度が鍛えられ、いざこざやトラブル、不満の訴えが少なくなったように感じる。以上の点から、研究仮説の「自他の個性に気づかせ、相互理解や尊重しあう雰囲気」を高める手立てを工夫していけば、よりよい学級づくりをしていく一員として、自信を持って行動していくことができるであろう。」に迫ることができたように感じる。



7 成果と課題

(1) 成果

- 自分の意見を書いて伝えることで、素直に友人の良いところを褒めることができていた。普段は恥ずかしくて直接言えないことも書くことによって伝えやすいというつぶやきが聞こえてきた。
- 生徒の感想用紙には「友人からこのように思われていて嬉しい」、「自分のことを改めて見つめなおすことができた」、「自分のことだけではなく友人のことをもっと知ることができた」といった素直なものが綴られた。また、「友人から教えてもらった短所を直したい」、「これからの生活に生かしたい」といった今後に向けた前向きなものもあった。
- 3月頃の学級は、仲が良くいい雰囲気だった。クラス替えを控えた3月は、クラス全体が温かい雰囲気、みんな仲良く協力して活動することができた。進級、クラス替えを惜しむ声も多く聞かれた。個を生かし、集団を育てるための手立てのひとつとして効果的であったと思う。

(2) 課題

- 書くことについて、友人のことを直接言及することに対して恥ずかしさや照れが見られた。したがって、授業後の研究協議では他グループの友人の長所を挙げる活動にした方がいいという意見もあったので、より有効な展開について模索していきたい。
- 生徒にじっくりと考えさせる時間を確保するために活動（書く・聞く・話す）のメリハリをつけて取り組ませることを意識していくようにする。
- 事後の取り組みとして、ワークシートに言葉を添えたり、生活ノートで対応したりしたが、生徒の学びを生かしたかという点では不十分であった。事後アンケートの実施や、今回の活動を元にしたクラスとしての集団決定を図るなど、より系統的に進めていきたい。

自分を見つめなおそう

	(B)	(C)	(D)	(E)	(A)
自分から 見た自分	さんから 見た自分	さんから 見た自分	さんから 見た自分	さんから 見た自分	さんから 見た自分
1 誠実な		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
2 正直な			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3 さわやかな		<input type="checkbox"/>			
4 陽気な			<input type="checkbox"/>		
5 ユーモアのある			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
6 活発な	<input type="checkbox"/>				
7 てきぱきした		<input type="checkbox"/>			
8 意思の強い	<input type="checkbox"/>				
9 じっくりしている		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
10 協調性がある				<input type="checkbox"/>	
11 積極的な	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
12 落ち着いた					
13 ねばり強い					
14 礼儀正しい	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
15 あたたかい					
16 思いやりのある					
17 親切な					
18 公平な					
19 頼りになる		<input type="checkbox"/>			
20 誰とでも仲良くなれる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
21 責任感のある		<input type="checkbox"/>			
22 勇気のある					
23 気取らない					
24 慎重である					
25 仕事がいねいである					
26 気配りができる			<input type="checkbox"/>		

・自分から見た自分の欄に○をつける。
 ・班で時計回りにワークシートを回す。
 ・自分の名前を記入し、友達に当てはまるものに○をつける。
 ・○をつけた理由も書く。

○をつけた理由・・・

(B)さんより
 生徒会とかや、てるし、たくさん発表とかしているから。
 みんなから好かれているから。

(C)さんより
 とってもまじめに勉強してるから。

(D)さんより
 いつもまじめに勉強してるから、それで面白く、正直だからです。

(E)さんより
 Aは明るくて面白いから

()さんより

※ 特に当てはまるもの5つに○をして下さい。

今日のまとめ

- ・自分から見た自分と、友達から見た自分を比べてどんなことに気がつきましたか。また、自分の長所を、これからの生活でどのように活かしていきたいですか。

「誰とでも仲良くなる」が多かった。なのでもうこれが私の長所なんだなと思いました。逆に「落ち着きがない」などは私の短所がと思いました。そこは私が今から直していきたいと思います。皆から教えてもらった長所をこれからものはしていきたくです。コメントもすごくうれしかったです。勉強もよく頑張る。人に教えられるような頭になりたいです。この授業をとおして自分の長所、短所がよくわかりました。しっかりと心にとどめて、これからの生活に活かして人を助けられるような人になりたいです。

